

学位被授与者氏名	叶 紅（よう こう）
論文題目	『外務省警察史』の漢口租界論の主部分について
論文審査結果の要旨	<p>『外務省警察史』は、中国にも伝えられてはいたものの、その句点のない「漢字片仮名交じり文」で作成された原始史料が難しすぎて、中国の研究者はほとんど読めないで、いまだ解明されていないでいる。本研究では、『外務省警察史』第49巻「中支・漢口」の前半部分、すなわち漢口日本租界の日本警察署が立ち上げた時の基本状況と「漢口四三事件」の過程などを明らかにしたものである。</p> <p>論者は漢口近郊出身の中国留学生として、とても難解たる明治時代の文体で書かれた「漢字片仮名交じり文」の史料を一字一句丹念に解読する上、現代中国語に翻訳し、古文の構造、特殊用語の用例、歴史事件の経緯などの究明に努めた。論者はこれからこの書物をさらに注釈と解説文を付け加え、体裁を整えた上で、今年中にも地元の武漢で出版し、多くの中国研究者の役に立とうと計画している。武漢市史研究の空白を埋めることである。</p> <p>したがって、本研究は修士論文の基準に到達し、価値の有するものと認める。</p> <p>平成28年2月16日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>